

## 大型放射光施設 ( S P r i n g - 8 ) 計画 説明のポイント

### 1 概要

日本原子力研究所と理化学研究所が建設し、財団法人高輝度光科学研究センターが運営

運転時間は年に約 5,400 時間で、これまでの実施課題数は約 3,100 課題、利用者数は 2 万人超

### 2 科学技術・学術審議会での中間評価の実施

13 年 9 月～14 年 8 月にワーキンググループを 9 回開催(現地視察を含む)

評価の目的

- ・ 共用をさらに促進すること
- ・ 研究活動の充実及び研究成果の社会へ還元すること
- ・ 効率的・効果的な施設運営を図ること

評価結果

- ・ 目標とする性能を十分に達成し、ビームの輝度、平行性等については当初の期待を上回った。
- ・ 利用者数、論文数、年間運営コストを他国の大型放射光施設と比較すると、単純比較はできないものの、SPring-8 の運営に関する費用対効果は、これらの施設と比肩しうる。

提言

#### 【運営システムの改革】

- ・ 施設の能力を最大限活用し成果をあげていくための戦略的な研究の推進
- ・ 新たな利用者の拡大や産業利用の促進のための支援の充実
- ・ 研究活動の動向、利用者のニーズに応じた柔軟かつ機動的な対応

#### 【運営組織の改革】

- ・ 広範な研究分野を俯瞰しつつ研究をリードできる体制の構築
- ・ 施設の能力向上から先端的成果が得られる利用者支援へ
- ・ 迅速な意志決定と機動的な業務の実行
- ・ 効率的な事務処理